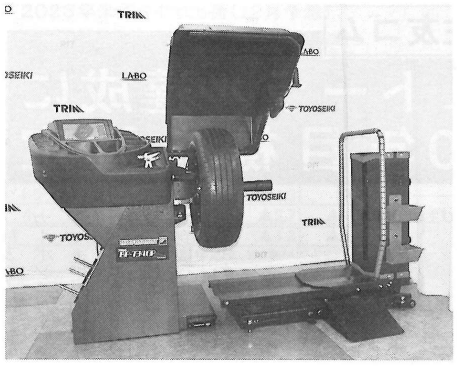
東洋精器工業のホイールバランサー

TRIM BP-7340P 新登場



「ＢＰ－7340Ｐ」とタイヤリフト「ＢＬ－02Ｂ」

東洋精器工業が今年発売した新製品のなかで、ホイールバランサーのラインナップとして最上級機種にあたるのがこの夏誕生した「TRIM BP7340P」だ。「（同）BP7300P」の後継機種としてさらに改良され好評という。どの点が機能アップしたのか、同社商品企画部の細目玲（ほそのめ　れい）課長に聞いた。（堀川）

■前モデルから操作性、安全性がさらにアップ

『TRIM BP-7340P（以下、BP7340P）は伊・ホフマン社製で、東洋精器工業のホイールバランサーの製品ラインナップでは上級機種に位置します』

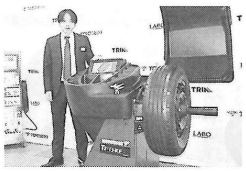
細目課長はまず新製品のポジションを説明、次に前モデル（BP7300P）から性能アップした点を分りやすくまとめてくれた。

『最大の特徴は、操作パネルを大きな液晶画面とし、見やすくした「ワイドタッチスクリーン」としたことです。前モデルはいわゆる「7セグメントモニター」といわれるもので、数字だけが光る表示形式でした。

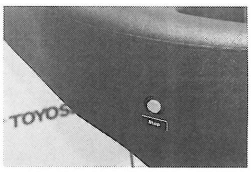
次に、緊急のストップボタンを追加しました。機械の前面、作業者の手元側に追加したことで必要に応じ回転中いつでも安全に停止することが可能です。

それから、新たにWi-Fi機能を搭載し、印刷が可能となったので、バランス修正前／修正後の目に見えるデータの提供などで、営業提案や点検記録として提示できる様になりました。

さらにボディカラーを赤からグレーに変更して、落ち着きと高級感を持たせました』と操作性が向上し、安全性がさらに増したことを強調した。



細目課長と新型マシン



緊急ストップボタン

■デモンストレーションでトータルの実力をみる

次に、実際にタイヤを装着したスチールホイールやアルミホイールで、BP7340Pを操作しバランスを調整しながら、前モデルから継承した特徴なども含めて、この機種のトータルの実力が紹介された。

今回は15インチのタイヤ・ホイールでデモが行われたが、その重量は約20kg弱で、やはり軽労化・省力化、ひいてはバランサーの主軸を傷めないためにも、タイヤリフトは欠かせない。

今回のデモに使用されていたのはPCバランサー用タイヤリフト「BL-02B」は、最大重量75kgまで対応、十字レーザーラインによるセンタリングが楽にできる。バランサーのメーカーや機種、主軸高の制限を極力回避しているので、汎用性も高いという。

タイヤ・ホイールのBP7340P本体への固定は、「電動パワークランプシステム」によって、ベテランや新人問わず、バラつきのない均等なクランプトルクで固定され、精度の高い測定を実現した。装着不良によるクランプ力不足時はエラー表示で注意喚起する。

クランプ時に使用する2ウェイペダルは蹴り上げるとクランプ開閉、踏み込むと任意の位置でロックが作動しホイールの回転をストップできる。

クランプ後ホイール内側にスケールを引き出し当てることで、ホイールまでの距離とリム径が感知され、またタイヤガードを下ずることでそれに付けられている「スマートソナー」が、リム幅を感知してバランス修正に必要な3つの数値を自動入力する。この3項目の数値が、大きなモニター（ワイドタッチスクリーン）に表示される仕組みになっている。

このワイドタッチスクリーンはスマートフォンのように直接タッチすることで操作が可能だ。しかも輸入品でありながら言語設定を日本語対応にしていることも使いやすさにつながっている。

■ウェイト貼付の際にも様々なハイグレード機能

バランスウェイトの測定結果はスクリーンに表示され、測定終了後スチールホイールであれば修正位置を12時（真上）の方向で自動停止し、アルミホイールであれば、レーザーポインターが作業効率の良い下方5時の方向にウェイト貼り付け位置を指示する機能となっている。これにより作業時間の短縮と、確実な位置への貼り付けで結果的にバランスウェイトの使用量が少なくなることにつながっている。

貼り付け時には、同社製の「ウェイトセッターペた2（ぺたぺた）」を併用すれば、より効率的で正確にバランス修正が可能になるという。

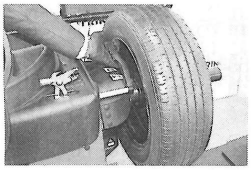
近年のデザインホイールに対応して、ウェイトを簡単操作で2分割に分ける機能もあり、スポークの後ろに隠れるように貼付して見栄え良くするビハインド機能がより効率的に可能となった。また、人気のデザインホイールに一部対応したテーパーコーンも標準付属品としたほか、他社ではオプションとなっている4WDコーンも標準付属品としている細かな配慮もなされている。

BP7340Pの最大の特徴であるワイドタッチスクリーンでは、ユーザーキャリブレーション（自己校正作業）も、スクリーンの示す分かり易いイラストに従って校正用ウェイトを使えば、ユーザー自身が10分足らずで僅かな精度ずれをいつでもリセットすることができ、非常に重要で便利な機能となっている。

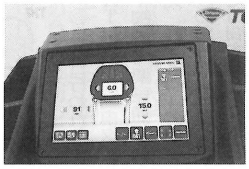
終りに、改めてバランサー「BP7340P」に仕込まれている「軽労化」への機能を聞いた。細目課長は、『一つにはスムーズでスピーディーな電動パワークランプ。そしてタイヤガードを下すことでスマートソナーが働き、リム幅を自動入力するので、従来の自動入力よりも手間が1回省かれ、省力化・軽労化に繋がっています』と自信を込めて語ってくれた。

本体の高さは110㎝（タイヤガードを立てた時の高さ180㎝）、横幅150㎝、奥行き80㎝。重量は90kgというコンパクトなサイズに、多くの機能を搭載した上級機種の「TRIM BP7340P」は、汎用機とはひと味もふた味も違う熟練プロも納得の正確性、効率性アップ機能が詰め込まれていると感じた。

安全・省力機能を向上

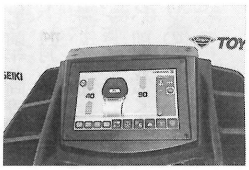


タイヤガードに付いているスマートソナー

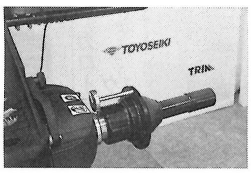


ワイドタッチスクリーン

距離と径を感知するスケール



バランスウェイトの測定結果



取り付けられた校正ウェイト

ウェイトをセットしやすい「ぺた２」

TRIM BP7340Pの主なスペック

- 適用リム径　：最大３２インチ
- 適用リム幅　：最大２０インチ
- 装着方式　：電動パワークランプ
- 使用電源　：AC100V
- 全自動入力　：距離/リム径/リム幅

施設総合処理能力　304.84t/日
大型破砕機 2基・中型破砕機 1基・切断機(等)保有
廃タイヤの処理は弊社におまかせください
株式会社 イトウ　TEL：043-265-1268　千葉市中央区浜野町1025-168
http://www.ito-tire.co.jp　ISO 14001認証